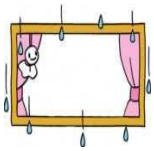
ほんのもり

No. 3　２０２４．６

富岡中学校図書館
学校司書　村木加津

～富岡中学校図書館だより



『梅雨読（つゆどく）』しませんか？

６月といえば梅雨。『ぴちぴち・ちゃぷちゃぷ』にわか雨、小糠雨、篠突く雨、滝落としに土砂降り、狐の嫁入りなど、雨にもいろんな呼び名や降り方があります。雨の日が続くと「外に出るのが面倒だなあ・・・」「雨が降ってすることがないよ～！」とついつい思ってしまうそんな時こそ、読書がオススメです。一人の時間を大いに楽しんでみてはいかがでしょうか？

移動図書館の様子です！

学習図書委員会より

5 月 22 日から 24 日まで**『1 人でも多くの富中生に学校図書館の本を借りてもらおう』**と移動図書館を実施しました。

みなさん、どうでしたか？移動図書館へのご意見、ご要望などありましたら、クラスの学習図書委員にお知らせください。また実施する予定ですので利用してください。

雨の日に読みたい本！！

『いま、会いにゆきます』

市川拓司/著　913イ

大好きだった妻の澪が亡くなって１年、身体にさまざまな不具合を抱えた巧は、町の小さな司法書士事務所に勤めながら、6歳になる一人息子の佑司とひっそりと暮らしていた。再び巡ってきた雨の季節の週末、いつもどおりの散歩に出かけた町のはずれの森で、この父と子二人に奇跡が訪れる。哀しい未来を知りながら、それでも愛しい存在に向かって発せられる言葉。

タイトルの意味を知ったとき、その言葉に込められた強く切ない思いに、きっと涙すると思います。

『雨降る森の犬』

馳星周/著　913ハ

９歳で父を亡くした中学生の雨音は、新たに恋人を作った母親が嫌いだった。学校にも行かなくなり、バーニーズ・マウンテン・ドックと蓼科で暮らす伯父・道夫のもとに身を寄せることに。隣に住む高校生・正樹とも仲が深まり、二人は登山の楽しみに目覚める。わだかまりを少しずつ癒していく二人のそばには常にあふれる自然や愛犬ワルテルの姿があった。

犬の愛らしい姿が心に響く長編小説。雨のシーンがとても印象的です。

★本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋★

富中生ならこれを読め！

みなさんは、富中図書館に『富中生ならこれを読め！！』コーナーがあるのを、知っていますか？　中学生の今、読んでほしい本を選びました。小学生の頃にはあんなに図書館で本を借りていたのに、中学生になったとたん貸出し数は激減。きっと図書の時間がないのもその理由の１つでしょう。しかし、富中には朝読書の時間があります。図書館を利用しないなんて本当にもったいない。というわけで、是非、図書館に来てみませんか？あなたの気に入る本があるかもしれませんよ。みなさんのいろんな意見も聞かせてください。

①『きみの友だち』913シ重松清/著

友だち？ 他人だよ、そんなの。でも特別な他人、大切な他人。嬉しいこと、つらいことがいっぱいあったから「友だち」の意味がわかった。痛みや喪失を乗りこえ、少女たち少年たちはやがて…。

②『こども六法』320山崎聡一郎/著

いじめや虐待は犯罪です。もし法律という強い味方がいることを知っていたら・・・。誰でも読めて、法律のむずかしい用語もできるだけわかりやすくして、イラスト付きで解説しています。

③『ツナグ』913ツ辻村深月/著

一生に１度だけ、死者との再会を叶えてくれるという。ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。死者との再会を望むなんて生者の傲慢かもしれない。でも・・・。

④『メシが食える大人になる！よのなかルールブック159高浜正伸/監修

人生を生き抜くための 50 のことば！いいことを言うよりもよい行動をとる。すぐに「きらい」「苦手」と言って自分の世界をせばめない。「後悔」はしない。でも「反省」はしっかりする。などなど

⑤『推し、燃ゆ』913ウ　宇佐見りん/著

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。

⑥『水を縫う』913テ　寺地はるな/著

周囲から浮いている手芸好きの清澄は、１歳の頃に父と母が離婚し、祖母と母と結婚を控えた姉の水青との４人暮らし。そんな姉のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言する。

⑦『西の魔女が死んだ』913ナ　梨木香歩/著

中学校へ行けないまいは、祖母のもとで「魔女修行」をすることになった。でもそれは、何でも自分で決めるということだった…。

⑧『桃太郎のきびだんごは経費で落ちるのか？』345　高橋創/著

鬼ヶ島から財宝を持ち帰った桃太郎を待っていたのは、毎年の確定申告でした。果たしてこの財宝はどう申告したらいいのか、鬼退治に使った「きびだんご」は経費として認められるのか…。

⑨『本屋さんのダイアナ』913ユ　柚木麻子/著

私の名は大穴（ダイアナ）。おかしな名前もキャバクラ勤めの母が染めた金髪も、はしばみ色の瞳も大嫌い。けれど小学３年生で出会った彩子がそのすべてを褒めてくれた。

⑩『10 代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』146　水島広子/著

１０代が抱えるさまざまな悩みやストレスから心を守って、自分らしく生きるための『心の原則』を教えてくれる。

⑪『夢をかなえるゾウ』913ミ　水野敬也/著

ダメダメな僕のもとに現れたゾウの姿をした神様ガネーシャ。１日ひとつずつ出される課題を全て実行すれば夢がかなうというのだが・・。